

令和元年度 若木保育園における自己点検・自己評価

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。
 【記入方法】

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A：たいへんよい
 B：よい
 C：一部検討を要する
 D：改善を要する

項目

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				職員全員が共通理解を図り、0歳から6歳までの継続した育ちを見通した保育の計画目標を図っていくよう努めていきたい。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				今年度より、自己評価を行ったため、今回の評価結果を基によりよい保育の改善に努めていきたい。
	(2) 保育所保育指針に基づき援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				充実した保育時間を過ごせるよう、保護者に早い登園時間を協力してもらっている
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				色々な行事に参加することにより、子どもたちの成長が見られ保護者にも喜んでもらえた。これからも、子どもの成長を見通しながら計画を立てるようにしたい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れられているか。	○				

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			職員の経験年数も長く、配置も十分足りている為、協力して業務に当たることができている。
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
	(3) 職員の配置は適材・適所か。	○				
	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				交代で休みを取っている為、全クラスでの打合せがなかなかできていないので、全クラスでの話し合いができるようにしていきたい。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
	(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	(4) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				
年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の姿態に即して設定しているか。	○				乳幼児期の発達を理解しながら、0歳児から就学までの成長を見通した計画とねらいを達成できる保育に取り組んできた。また、異年齢児での活動も行った。評価反省を次に生かせるよう記録を残すようにしていきたい。
	(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
	(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
	(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
	(5) 意義や趣旨を理解したティーム保育を行っているか。	○				
	(6) 評価、資料（諸記録）を累積しているか。		○			
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			保健・安全指導計画に基づいて実施することができて良かった。保健だよりを出して家庭との連携をとることができた。
	(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			
所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。			○		今年度、研究主題を立てていなかったの で、来年には計画を立てられるように したい。
	(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○			
	(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○		
	(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
所外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				研修に参加し、個々に受講した研修を園内で報告実践につなげていった。
	(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか。	○				個人情報に関する園内研修を充実し、その中で個人情報取り扱い方法や管理方法についての共通理解を図っている。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○			
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
	(4) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			
施設・設備	(1) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			週1回の安全点検等の記入を行っている。 不審者対応にはカメラの設置と園内研修を通して周知徹底を図っている
	(2) 不審者等に対応する周回な配慮を行っているか。		○			
	(3) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
	(4) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			
出納経理	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			会計事務所のもと、処理をしている 小学校の行事に積極的に参加し、交流を深めている。 授業参観日に出向き卒園後の成長を見る機会もあり情報交換や連絡をして共有することに努めた
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができようか。	○				
	(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
家庭と地域の連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			参観日は設定していないが、見学はいつでも受け入れられるようにして、相談にも対応できる体制をとっている。 地域の行事には積極的に参加し、数々の老人福祉施設も訪問している。 またひよっとご踊りや龍踊りなどたくさんの舞台を経験して自信や自己肯定感を高められる努力をしている。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				園に隣接している支援センターとともに、同年齢の子ども同士が一緒に遊べる計画を立てている。 全職員が、南島原市保護者支援士養成講座を受講して保護者支援に関する知識と技術を習得し、「子育て相談」を行っている。
	(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○				
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報発信しているか。	○				園だより、クラスだより、ホームページなどで施設の情報や活動を積極的に発信している。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○				
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	アンケートを通して、意見を頂き、よりよい改善に向けて取り組みんでいる
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			

自己評価表 (0歳児)

ねらい...「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

No.	内 容	自己評価		
		月	10月	
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		◎	
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		○	
3	指導計画に沿った、見通しを待たせた保育をしている。		○	
4	子どもの興味とつじけのバランスを考えながら保育している。		○	
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		△	
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高められている。		○	
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受けいれる努力をしている。	A	子どもの思いを大切にしながら対応している。	○
		B	言葉・非言語のしつけを個に合わせて工夫している。	○
		C	心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○
		D	「早くしなさいとせかす言葉やだめいけません」など、制止や禁止のことはを用いないようにしている。	◎
		E	個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○
		F	子どものサインを見逃さず対応している。	○
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○	
9	「かわり方を意識して保育している。	A	保育士の話しに反応できることのできるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	○
		B	他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	○
		C	待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○
		D	子どもが本来にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○
10	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	A	子どもが甘えられれる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)	○
		B	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子ども心身の状態等に応じ、職託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎
		B	気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○
		C	保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○
		D	子育てに関する相談、援助に対応できる。	○
		E	支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○
		F	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎
13	地域との連携のあり方がわかる。	A	関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	△
		B	子育て応援Dayなど、地域の親子を気持よく受け入れ、子育ての相談に応じることができる。	○
		C	実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○
目標	子供が自分でやりたいという気持ちを受け止め、援助しながら一人一人の子供達の気持ちを受け止めることに精一杯で、全員が満足できるような援助ができればいいと思う。	所長印	◎	
自己評価			◎	

記入方法 (◎とても良い、○良い、△良い、△配慮しよう)

自己評価表 (1歳児)

ねらい……「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

R1

No.	内 容		自己評価	
	月	10月		
1		優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。	◎	
2		生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。	◎	
3		指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。	◎	
4		子どもの興味とつづきのバランスを考えながら保育している。	◎	
5		自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通して、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。	◎	
6		保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高められている。	◎	
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受けいれる努力をしている。	A	子どもへの思いを大切にしながら対応している。	◎
		B	食事・排泄のしつけを個々に合わせて工夫している。	△
		C	心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	△
		D	「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはを用いないようにしている。	○
		E	個々の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○
		F	子どものサインを見逃さず対応している。	○
8	一人ひとりの声や活動をキヤッチし、全体にも気を配っている。		◎	
9	「かわわりを意識して保育している。	A	保育士の語いに応えることができるよう配慮している。(あやす、言葉がけをする・声なめる)	○
		B	他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	○
		C	待つてもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○
		D	子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	◎
10	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	A	子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)	○
		B	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	◎
11	保護者との連携が十分に取れている。	A	保護者との連携が十分に取れている。	◎
		B	保護者との連携が十分に取れている。	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○
		B	気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○
		C	保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○
		D	子育てに関する相談、援助に対応できる。	△
		E	支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	◎
		F	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	△
13	地域との連携のあり方がわかる。	A	関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	△
		B	子育て広場Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	△
		C	実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な調査や情報提供ができる。	○
目標		子育てのなかで、自分でやってみようという気持ちを育み、達成感や満足感を味わえるようにする。		
自己評価		トータルで、自分や職員が保育の質を高め、子どもたちの成長に貢献していることを実感し、保育の楽しさを共有し、保育の質を高めようとする。		

記入方法 (◎とても良い、○良い、△配慮しよう)

所長印

自己評価表 (年少児)

ねらい...「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

RI

No.	内容		自己評価	
	月	日		
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。	10月	○	
2	生活リズムが身に身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		◎	
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	
4	子どもの興味とつづきのバランスを考えながら保育している。		◎	
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		◎	
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れられる努力をしている。	A	子どもの思いを大切にしながら対応している。	○
		B	食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	○
		C	心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○
		D	「早くしなさいとせかさす言葉やだけめいけません」など、制止や禁止のことはを用いないようにしている。	△
		E	個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○
		F	子どものサインを察せず対応している。	○
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。	A	保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。	○
		B	(あやす・言葉がけをするための)	◎
		C	他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	○
		D	子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)	○
10	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	A	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	○
		B	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。	○
11	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	A	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎
		B	気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	◎
		C	保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	◎
		D	子育てに関する相談、援助に対応できる。	○
		E	支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○
		F	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた情報の秘密保持に留意している。	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A	関係機関との連携のとおり方を知っている。(厚生委員、健康推進課、子育て支援センターなど)	○
		B	子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じることができる等、子育て支援ができる。	○
		C	実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助産や情報提供ができる。	○
13	地域との連携のあり方がわかる。		○	
目標	受けて自己表現がでる幼い思いに寄り添い、一人ひとりの成長を高め、自信を持つさせる。 不慣れな子どもを励まし、あせらず待つことで、根強く、せり上げる心が育ち、個々の自信に一つ増えることができた。		所長印	
自己評価	記入方法 (◎とても良い、○良い、△配慮しましたよ)		所長印 (印)	

自己評価表 (年中児)

ねらい...「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識すること
が基礎となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

R.1

自己評価		月	10月
No.	内容		
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が出来ている。		○
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の變化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的に及ぶ内容を設定している。		○
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。		○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の獲得、維持及び向上に努めている。		◎
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高められている。		◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようとして努めている。	A	子どもの思いを大切にしながら対応している。
		B	温かい言葉遣いで、穏やかに話している。
		C	自分の思いを表明する力が十分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。
		D	早くしないとせかす言葉やためらいげまんなど、制止や禁止のことばを用いないようにしている。
		E	できないげやでなど言ってくる子どもに対して、子どもの状態に応じて対応している。
		F	子どものサインを見逃さず対応している。
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。		○
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A	子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。
		B	喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切にしている。
		C	年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。
		D	子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを取っ替えり、協力し合う場を設定している。
10	A	保育士自身が楽しんで保育をしている。(楽しんでるな表情ができる)	◎
	B	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	◎
11	体調不良、食物アレルギー、障音のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。	A	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。
		B	気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。
		C	保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。
		D	子育てに關する相談、援助に対応できる。
		E	支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。
12	保護者との連携が十分に取れている。	F	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事実の秘密保持に留意している。
		A	関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、幼稚園、子育て支援センター等)
13	地域との連携の在り方がわかる。	B	子育て支援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。
		C	実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。
目標	個人差に配慮して保育ができるようにしていく。		
自己評価	行事や園外活動に積極的に参加してしまいがあつたことで時間的に余裕を持って活動できるようになっていく。		

所長印

記入方法 (◎とても良い、○良い、△悪い、△配慮しました)

自己評価表 (年長児)

ねらい……一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基礎となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

自己評価		月	10月
No.	内容		
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が来ている。		○
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の变化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらい及び内容を設定している。		○
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に進めるよう配慮している。		○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研究を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高められている。		○
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	A	子どもの思いを大切にしながら対応している。
		B	温かい言葉遣いで、種やかに話している。
		C	自分の思いを表現する力が自分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。
		D	「早くしなさい」とせかす言葉や「だめじゃないけません」など、制止や禁止のことばを用いないようにしている。
		E	「できない」「やめて」など言ってくる子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。
		F	子どものサインを見逃さず対応している。
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。		○
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A	子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。
		B	喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に配慮している。
		C	年齢に合った、社会的ルールを身につけるよう配慮している。
		D	子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。
10	A 保育士自身が楽しんで保育をしている。(楽しんでる表情ができる)		○
11	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。 体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や臨力の下に適切に対応している。	A	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。
		B	気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。
		C	保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。
		D	子育てに関する相談、援助に对应できる。
		E	支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。
		F	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事実の厳密な保持に留意している。
12	保護者との連携が十分に取れている。	A	関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、幼稚園、子育て支援センターなど)
		B	子育ては誰DeVなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。
		C	実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。
13	地域との連携の在り方がわかる。		○
目標	子どもの思いを大切にしながら子どもの目標にたどり着いていく。		所定用紙参照
自己評価	初めての年長を担当させて貰って大変な事ばかりで、保育ができていない日ばかり、子どもも同じ目標を、記入方法 (◎とても良い、○良い、△配慮しよう)		◎